

平成 26 年度全国保育士養成協議会

東北ブロックセミナー秋田大会

開 催 要 項

《大会テーマ》

保育新時代に保育の「真」を問う  
—保育士養成の今日的課題—

期 日 平成 26 年 11 月 8 日（土）・9 日（日）

会 場 秋田大学教育文化学部 60 周年記念ホール  
ホテルメトロポリタン秋田

平成 26 年度全国保育士養成協議会

東北ブロックセミナー秋田大会

1. 大会テーマ 保育新時代に保育の「真」を問う

—保育士養成の今日的課題—

2. 期 日 平成 26 年 11 月 8 日 (土) 13:00~20:00  
11 月 9 日 (日) 9:00~11:40

3. 会 場 秋田大学教育文化学部 60 周年記念ホール  
〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1 ☎018-889-2677 (事前のみ)  
ホテルメトロポリタン秋田  
〒010-5803 秋田市中通 7 丁目 2-1 ☎018-831-2222

4. 日 程

第 1 日目 (11 月 8 日 土曜日)	
11:30 ~	理事会
12:30 ~ 13:00	受 付
13:00 ~ 13:15	開会式
13:20 ~ 15:20	シンポジウム テーマ: 保育の「真」と求められる保育者の専門性 シンポジスト みつば保育園長 (秋田市) 讃岐 信孝 氏 聖霊女子短期大学附属幼稚園長 仁村 由美子 氏 秋田市教育委員 (元秋田県教育庁幼保推進課長) 進藤 光子 氏 秋田大学教育文化学部 山名 裕子 指定討論者 浜田 寿美男 先生 (奈良女子大学名誉教授) コーディネーター 秋田大学教育文化学部 奥山 順子
15:30 ~ 16:50	講 演 講師 はま だ すみお 先生 (奈良女子大学名誉教授) 演題 幼い子どもの人権を考える—子どもの「最善の利益」とは何か
17:00 ~ 17:10	専門委員会報告
17:10 ~ 17:25	総会
	<移動>
18:30 ~ 20:00	情報交換会
第 2 日目 (11 月 9 日 日曜日)	
8:30 ~ 9:00	受 付
第 I 部 個人研究発表	
9:00 ~ 9:20	障害児保育の専門性に関する検討」郡山女子大学短期大学部 小林 徹 氏
9:20 ~ 9:40	保育者養成の初年次教育のあり方に関する一考察 東北福祉大学 高野亜紀子氏
9:40 ~ 10:00	保育者養成におけるソーシャルワーク教育の試行—社会福祉援助技術演習教育でのフィールドワーク— 東北福祉大学 米山 珠里 氏
第 II 部 研究委員会報告等	
10:15 ~ 11:30	東北ブロック研究委員会
11:30 ~ 11:40	閉会式・解散

## 5. 内 容

### 【第1日目】11月 8日(土)

◇受付 12:30 ~ 13:00

◇開会式 13:00 ~ 13:15

実行委員長あいさつ  
東北ブロック会長あいさつ

◇シンポジウム 13:20 ~ 15:20

テーマ： 保育の「真」と求められる保育者の専門性

<シンポジスト>  
氏

みつば保育園長(秋田市)

讃岐 信 孝

聖霊女子短期大学附属幼稚園長  
秋田市教育委員(元秋田県教育庁幼保推進課長)  
秋田大学教育文化学部

仁村 由美子 氏  
進藤 光子 氏  
山名 裕子 氏

指定討論者 浜田 寿美男 先生 (奈良女子大学名誉教授)  
コーディネーター 奥山 順子 (秋田大学教育文化学部)

#### シンポジウムの趣旨

2015年度に子ども・子育て新法が施行されます。新制度発足の前年に当たる今年度のセミナーでは、改めて保育の原点に立ち戻り、養成校教員としてこれからの子どもの生活・子どもの育ちを支える保育者の養成教育にどのように関わっていくことができるのかを皆さんで再考するために、このシンポジウムを企画いたしました。

保育に対する社会のニーズは質・量ともに高まっています。その半面、養成校で教育を受けた保育士たちの現実には、早期退職が常態化し、本来は高い専門性が必要なはずの保育士集団自体での専門性の育成、継承が困難な状態が続いています。そして調査によれば保育現場側からは、養成教育の充実が以前にも増して求められるようになっていきます。

一方、増大する保育ニーズに応えるために量的には増加している多様な保育施設や子育て支援の状況を見ますと、子どもの豊かな生活の保障という点で疑問を抱かざるを得ない実情も散見されます。ニーズに応えるための緊急的対応が保育の質の低下につながり、それが常態化することへの危機感も抱かざるを得ません。その背景として、保護者の保育ニーズがサービス提供や子育ての外部委託に向かっているという課題がある一方で、保育の質を問うよりも実体としての支援の必要性が喫緊であるという実情の保護者・家庭が少なくないこともまた現実です。

このような現状の中での乳幼児期の子どもたちの生活をみると、近年は保育所という限定された集団の場で低年齢時から長時間の生活をする子どもや、その他の様々な施設で生活をする子どもが増加しています。子どもたちの生活の大部分が保育施設での時間となっている現在、今一度、集団施設で子どもが生活する意味を問い直し、子ども時代の豊かな生活、発達を支える保育の在り方、そのための保育士の役割、専門性を再考する必要があるでしょう。一方、新制度の議論の中では、保育所の「保育」と幼稚園の「教育」の一体化というような言葉が使われていました。ここで求められている「保育」「教育」とは、どのようなことなのでしょうか。「保育サービス」充実を急ぐために子どものための「保育」本来の目的がゆがめられてはなりません。また、「教育」という名目で、乳幼児期独自の「保育」の営みがゆがめられることも避けなくてはなりません。

私たちがかわる保育士養成校の学生の多くは、「子どもが好き」で「子どもの生活・子どもの成長を支えたい」「子どもたちの豊かな生活をともにつくりたい」といった希望を抱いて入学します。そうした学生たちにこれからの時代にも変わらずに大切に、目指してほしい保育の「真」とはどのようなことなの

か、子どもの最善の利益を支える保育の専門性とはどのようなことなのか、そのために保育士養成校が果たすべき役割とはどのようなことなのかを、保育の本質に立ちかえてご参会の皆さんとご一緒に考えたいと思います。

◇講演 15:30 ~ 16:50

演題 幼い子どもの人権を考える

—— 子どもの「最善の利益」とは何か

講師 はまだ すみお  
浜田 寿美男 先生（奈良女子大学名誉教授）

**【講師のご紹介】**

専門は発達心理学など。

主な著書 『意味から言葉へ』1995, ミネルヴァ書房

『子ども学序説』2009, 岩波書店

『子どものリアリティ 学校のバーチャリティ』2005, 岩波書店

『障害と子どもたちの生きるかたち』2009, 岩波現代文庫

『自白の心理学』2001, 岩波新書 その他多数

◇専門委員会報告 17:00 ~ 17:10

◇平成26年度東北ブロック第2回総会 17:10 ~ 17:25

〈～移動～〉

◇情報交換会 18:30 ~ 20:00

**【第2日目】11月9日(日)**

◇受付 8:30 ~ 9:00

◇第I部 個人研究発表 9:00 ~ 10:00

1. 「障害児保育の専門性に関する検討」

発表者 郡山女子大学短期大学部 小林 徹

2. 「保育者養成の初年次教育のあり方に関する一考察」

発表者 東北福祉大学 高野 亜紀子

3. 「保育者養成におけるソーシャルワーク教育の試行

—社会福祉援助技術演習教育でのフィールドワーク—

発表者 東北福祉大学 米山 珠里

◇第II部 研究委員会報告等 10:15 ~ 11:30  
東北ブロック研究委員会

◇閉会式 11:30 ~ 11:40

次回開催県のあいさつ  
閉会のことば

## 6. 参加申し込みについて

### ① 申し込み方法

参加申込書にて **E-Mail** または **FAX** でお届けください。

申し込みは学校ごとに取りまとめられても、個別でも構いません。

メール本文に申込用紙の必要事項をお書きくださっても結構ですが、下記宛に申込用紙請求のメールをくだされば、返信に貼付ファイルでお届けいたしますので、折り返しお申し込みください。お申し込みと同時に下記参加費もお振込みください。

**期限 7月28日（月）必着**

E-Mail kyogaku@jimu.akita-u.ac.jp

FAX 018-833-3049

\* 宿泊は各自でご手配ください。

- ② 参加費
- セミナー参加費 会員校教員 一人 6,000 円  
県内関係者 一人 1,000 円
  - 情報交換会参加費 一人 6,000 円

いずれも参加申し込み時に下記郵便振替口座への前納にてお願いいたします。

郵便振替口座 02240 - 7 - 114965

加入者：保養協東北ブロックセミナー秋田大会

\* 同封の振替用紙をご使用ください。

\*キャンセルの場合、全額の返金には応じられない場合があることをご了承ください。

◇実行委員会

	所 属 等	氏 名	役 割
実行委員長	秋田大学教育文化学部長	武 田 篤	
実行副委員長	秋田大学教育文化学部	奥 山 順 子	事務局代表
実行委員	秋田大学教育文化学部	山 名 裕 子	会計
実行委員	秋田大学教育文化学部	瀬 尾 知 子	
実行委員	聖園学園短期大学	安 藤 節 子	
実行委員	聖園学園短期大学	猿 田 興 子	
実行委員	聖園学園短期大学	蛭 田 一 美	
実行委員	聖霊女子短期大学	山 田 節 子	情報交換会担当
実行委員	聖霊女子短期大学	畠 山 君 子	
実行委員	聖霊女子短期大学	土 田 昌 子	

◇お問い合わせ先

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
秋田大学教育文化学部 奥山 順子（研究室直通）  
電話&FAX：018-889-2677  
E-mail：okuyama@ed.akita-u.ac.jp

◇当日連絡先

大会当日は上記連絡先の電話に出ることができません。  
下記にご連絡ください。  
電話：090-8783-4403（当日のみ使用可能の番号です。）